

令和4年度 所属研究員の発表論文等一覧

※ 当場の職員はゴシックとした。

さけます資源部門

Effect of water temperature on the feed intake, growth, and feeding efficiency of juvenile chum salmon *Oncorhynchus keta* after seawater transfer : Mitsuru Torao (さけます内水試) 水産増殖, 70 (1), 97-106, 2022.4

海岸でのサクラマス釣りとう資源増殖との関係: 下田和孝(さけます内水試), 青山智哉(八雲町) 試験研究は今, No. 957, 2022.7

放流サクラマスはどのくらい釣れているのか? 海岸からのサクラマス釣りとう資源増殖との関係: 下田和孝(さけます内水試), 青山智哉(八雲町) 令和4年度水産研究本部成果発表会, 2022.8

水温が高いときサケはどう泳ぐ? 標識放流で知るサケの遊泳行動: 實吉隼人(さけます内水試) 令和4年度水産研究本部成果発表会, 2022.8

次世代の資源を残して漁獲するために 魚探を用いたワカサギ資源量推定手法の開発: 飯嶋亜内(さけます内水試) 令和4年度水産研究本部成果発表会, 2022.8

ホッケ道南群における漁獲物の年齢と体サイズとの関係(資料): 下田和孝(さけます内水試), 藤岡崇(函館水試) 北水試研報, 102, 41-48, 2022.9

サケ稚魚の絶食時の体成分と脂肪酸組成の変化(資料): 虎尾 充(さけます内水試) 北水試研報, 102, 49-54, 2022.9

Effects of stream habitat restoration through fishway construction on masu salmon population in a small tributary in Hokkaido, Japan : Mitsuru Torao, Kazutaka Shimoda, Hirokazu Urabe (さけます内水試), Hiroshi Kawamura (オビラメの会) Proceedings of the IYS Synthesis Symposium, 78, 2022.10

Environmental characteristics of lagoons as a nursery habitat for juvenile chum salmon in eastern Hokkaido, Japan : Hirokazu Urabe, Shuichi Mano, Yosuke Koshino, Kiyoshi Kasugai, Hajime Omori (さけます内水試), Hiroaki Suzuki, Kenji Nishina, Toshikazu Kizuka, Satoru Ono, Yasuhito Uchida, Kazuhiro Hamahara (エネ環地研), Akane Nishi, and Satoshi Katayama (東北大院) Proceedings of the IYS Synthesis Symposium, 79, 2022.10

A Broad-Scale Prediction of Reduction in Spawning Habitats for Salmonids by Dams ; Taihei Yamada (北大院), Hirokazu Urabe (さけます内水試), Futoshi Nakamura (北大院) Proceedings of the IYS Synthesis Symposium, 80, 2022.10

Does hatchery program in Hokkaido affect the DNA methylation of chum salmon? : Yuya Kogame, Hirokazu Urabe (さけます内水試), Takafumi Fujimoto (北大院) Proceedings of the IYS Synthesis Symposium, 87, 2022.10

天塩川におけるサケの移動速度: 實吉隼人, 村上 豊, 藤原 真, 卜部浩一, 神力義仁(さけます内水試) 令和4年度日本水産学会北海道支部大会講演要旨集, 15, 2022.11

サケの自然産卵による増殖効果は?: 越野陽介(さけます内水試) 試験研究は今, No. 957, 2022.11

統合プログラム(融和方策)によるサケ資源の増殖と管理に向けて一釧路川水系での放流・野生サケ集団の統合的管理に向けた取組みの紹介: 卜部浩一, 下田和孝, 小亀友也, 大磯毅晃(さけます内水試) 第15回サケ学研究会講演要旨集, 2022.12

流域の地形特性は溯河性サケ科魚類の再生産効率を規定するか? : 山田太平 (北大院農), ト部浩一 (さけます内水試), 中村太士 (北大院農) 第 15 回サケ学研究会講演要旨集, 2022. 12

オホーツク東部地区におけるサケマス資源回復に向けた取り組み : 宮腰靖之 (北見さけます増協), 越野陽介, 倉谷京介 (さけます内水試), 佐藤俊平 (水産機構資源研) 第 15 回サケ学研究会講演要旨集, 2022. 12

Intentional release of native species undermines ecological stability : Akira Teru (ノースカロライナ大), Hirokazu Urabe (さけます内水試), Masayuki Senzaki (北大院), Bungo Nishizawa (極地研) PNAS, 120 (7) e2218044120, 2023. 2

ふ化放流事業がサケの遺伝子修飾に与える影響について : 小亀友也 (さけます内水試) 試験研究は今, No. 973, 2023. 3

耕作放棄が進む里山環境に依存するトウキョウサンショウウオとその保全への課題 : 国武陽子 (城西国際大), 原地司 (米沢の森を考える会), 石坂健彦, 森崎耕一 (ネクスコ東日本エンジ), 大磯毅晃 (さけます内水試) 第 70 回日本生態学会講演要旨, W10-2, 2023. 3

ラクトフェリン投与によるヒメマスの種苗性向上 : 橋本龍治 (さけます内水試) 令和 5 年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 16, 2023. 3

北海道太平洋沿岸で初夏に漁獲されるカラフトマスについて : 倉谷京介, 虎尾 充, 伊藤雅浩, 越野陽介, 藤原 真, 春日井 潔 (さけます内水試) 令和 5 年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 115, 2023. 3

オホーツク海沖合で採捕されたサケ幼魚の特徴 : 春日井 潔, 越野陽介, 下田和孝 (さけます内水試), 石田良太郎 (釧路水試) 令和 5 年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 116, 2023. 3

内水面資源部門

高温スチームを用いたサケマス養殖場でのウイルス消毒方法 : 勝又義友 (さけます内水試) 試験研究は今, No. 952, 2022. 4

根付き魚、キツネメバルの増殖を目指して 種苗生産技術開発と放流効果調査 : 田園大樹 (さけます内水試) 令和 4 年度水産研究本部成果発表会, 2022. 8

親から子どもへ感染症をうつさせない ヒラメアクアレオウイルス感染症の親魚検査技術の改良 : 西川翔太郎 (さけます内水試) 令和 4 年度水産研究本部成果発表会, 2022. 8

食用植物、およびサポニンに対する海生卵菌類の感受性 : 田園大樹 (さけます内水試) 令和 4 年度日本水産学会秋季大会講演要旨集, 63, 2022. 9

北海道内のワカサギ釣り遊漁券発券枚数の推移 : 真野修一 (さけます内水試) 試験研究は今, No. 961, 2022. 9

持続的なサケ資源の利用を可能にする人工授精とは vol. 2 : 山口 文 (さけます内水試) 試験研究は今, No. 969, 2023. 1

マナマコのシオダマリミジンコ対策試験 (経過報告) : 伊藤慎悟 (さけます内水試) 令和 4 年度マナコ種苗生産担当者会議, 2023. 1

北海道における養殖場の水源となる河川水と湧水 : 室岡瑞恵, 安藤大成, 宮本真人, 楠田聡, 内藤一明 (さけます内水試) 第 24 回日本陸水学会北海道支部会, 2022. 12

冬季から春季の北海道日本海表層域におけるオキアミ類への寄生生物の観察：浅見大樹（さけます内水試） 第9回オホーツク海洋生物研究会，2023.1

新しい感染症診断技術の開発について：西川翔太郎（さけます内水試） 北水試だより第106号，18-20，2023.3

網走湖における甲殻類プランクトン3種の鉛直分布：浅見大樹（さけます内水試） 北水試研報，103，9-17，2023.3

網走湖における動物プランクトン優占種の出現状況：浅見大樹（さけます内水試） 北水試研報，103，1-8，2023.3

ウイルス中和試験を用いたヒラメアクアレオウイルス感染症親魚検査の条件検討：西川翔太郎（さけます内水試），柳澤三朗，赤池章一（道栽培公社），水野伸也（さけます内水試） 令和5年度日本魚病学会春季大会，2023.3

原産地のタイプ宿主 (*Salmo trutta*) から採集された単生類 *Discocotyle sagittata* とイトウに寄生する *Discocotyle* の形態学的比較：小川和夫（目黒寄生虫館），白樫 正（近大水研），伊藤慎悟，宮本真人，勝又義友，西川翔太郎（さけます内水試） 令和5年度日本魚病学会春季大会，2023.3

北海道で分離した伝染性造血器壊死症ウイルス（IHNV）のニジマス及びサクラマス間における病原性の相違：勝又義友，水野伸也（さけます内水試），笠井久会（北大院水） 令和5年度日本魚病学会春季大会，2023.3